



# 大梅

DAIBAI



大梅拈華山 圓通 正法寺

Vol.10  
—  
Free  
Paper





正法寺末寺護持会会長 願成寺 芳川春彦

## 年頭の御挨拶

令和三年辛丑改歳の令辰に当たり、皆様方には良き新年をお迎えのこと大慶に存じます。

昨年はコロナに始まりコロナに終わる一年でした。御本寺においても予定していた先住忌法要を始め、様々な年間諸行持が感染防止を第一に考えて中止や山内のみにて行ずる内容へと変更せざるを得ない状況でした。また、一般拝観や精進料理の提供についても暫く中止され、収入も大きく減少致しました。そのような厳しい状況の中でも山主老師をはじめ山内役寮の皆様には積極的な僧堂運営に力を注いでいらつしゃいます。

本年はコロナ禍が収束して本来の僧堂運営や諸行持が再開されることを祈念しております。

末山御寺院の皆様には大変な状況の中にも関わらず、変わらぬ御支援を賜りました事に深い感謝の意を表しますと共に、本年も更なる御理解と御支援の程賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら各御寺院の御隆盛と諸老師、皆様の法臘延長を祈念申し上げ、年頭の御挨拶と致します。



成道會献飯颯經で導師を勤められる山主老師

## 御挨拶

正法寺 山主 盛田正孝

年頭に際し、皆々様の御多幸を心より御祈念申し上げます。

昨年は特別な一年でありましたが、末山法類有縁の方々の御法愛と御支援を賜り、無事越年する事が出来ました。この御恩に直接応える事は叶いませんが、修行僧の育成に専念する事を以て報恩とさせて頂きます。

この時代に生を受け衣線下の身となり、共に辨道して思う事は、自らの事として「師はあれど参得なるうらみ」ある身として、修行僧には「参ぜんとするに師不得なるかなしみ」の思いをさせてはならぬと自らに誓うものであります。「本当の理解は同じ道を歩むにしかず」ですから、佛祖の歩まれしこの道を、身心をもって行持現成してこそ真の報恩行と思つて行じて参ります。

何卒、本年も宜しく御指導、伏してお願ひ申し上げます。

## 僧堂安居者募集のお知らせ

正法寺専門僧堂は年間2期間の開旦過を設け、弘法利生を志す安居者を募集しております。

夏安居開旦過 1月15日～3月31日

冬安居開旦過 7月15日～9月30日

### 《掛搭資格》

※曹洞宗の僧籍簿に登録されている者であって中学校卒業以上の者。

本山僧堂への安居修行後、更なる坐禪修行、参究・実践を積まれない方。諸事情により、本山僧堂への安居が難しい方も御相談下さい。

※正法寺専門僧堂堂則より引用

僧堂安居を希望される方は、「正法寺専門僧堂 監事寮」までお問い合わせ下さい。監事寮より掛搭志願資料をお送り致します。

正法寺専門僧堂 監事寮

Tel. 0197-26-4041(代) / Fax. 0197-26-4107(代) / Url. shoboji.net/professional\_sodo/

受付時間 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで) 無休

## 山主老師動静報告

11月9・10日 大本山總持寺獨住第二十三世 閑月即眞禪師板橋興宗猊下 茶毘式禮 於 大本山 總持寺

# 秋佛本尊御開帳

岩手県指定文化財  
「如意輪観世音菩薩坐像」

二〇二一年四月一日(木)～九月三十日(木) 9時～17時



岩手県指定文化財 法堂秘佛本尊「如意輪観世音菩薩坐像」奇木造 像高48cm 鎌倉時代後期

寺伝では鎌倉時代後期（十三世紀後半から十四世紀初頭）「※春日作」と伝わる六臂半跏像。観音変化の六観音の一人で、六手は六道救済を意味します。左の上手は光明山（観世音菩薩がおられる補陀洛山）を意味し、次の手に蓮華を携え、下の手には金輪を持つております。右の上手は思惟の相、次の手に如意寶を受け、下の手に数珠をかけております。観世音菩薩の悟りを意味する「圓通」により、正法寺法堂の本尊としてお祀りされております。理知的な面相の宋風の本格的な鎌倉彫刻で秘佛とされています。

通常は年に一度、十月十六日の熊野大権現大祭でのみ御開帳される秘佛本尊を、東北デスティネーションキャンペーン期間中の令和三年四月一日（木）～九月三十日（木）、JR東日本盛岡支社をはじめとする県内企業、団体様に後援頂き特別公開致します。

秘佛本尊の複製は県内に二軀あり、一軀は岩手県立博物館（岩手県盛岡市）、もう一軀は、えさし郷土文化館（岩手県奥州市）にて展示されています。期間中、えさし郷土文化館より実物大の如意輪観世音菩薩坐像を拝借し展示致します。間近で、佛様の細かな表情や装飾を御覧下さい。

※運慶（？～一二四四年）、湛慶（一一七三～一二五六年）等を総称した奈良を中心とした佛師

## 【特別法要】

秘佛本尊御開帳に伴い、左記日程で特別法要を厳修致します。先着50名様限定で、一般参詣者の方々も御参列頂きます。法要への御参列は完全予約制となります（令和三年二月五日（月）より参列予約受付開始）。御参列を希望される方は必ず事前に、「正法寺 総合受處（知客寮）」まで御連絡下さい。

令和三年四月一日（木）十一時〇〇分より

「秘佛本尊 如意輪観世音菩薩 御開扉諷經」於法堂

令和三年九月三十日（木）十一時〇〇分より

「秘佛本尊 如意輪観世音菩薩 御閉扉諷經」於法堂

また御開帳期間中、寺院団参や各種法要（拜登諷經・総諷經・祈禱諷經・梅花奉詠等）の御予約も承ります。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防に十分留意しながら対応致します。詳しくは「正法寺 総合受處（知客寮）」までお問い合わせ下さい。



御開帳期間中に頒布する山主老師御染筆（複写）の限定朱印紙。

## 【月例法話會開催のお知らせ】

禪の道場正法寺では、秘佛本尊御開帳にあたり、令和三年四月～九月の期間、毎月第一日曜日に「月例法話會」を開催する事と致しました（八月を除く）。

いま尚、修行僧たちが辨道精進を続ける正法寺。當山の歴史や禪の教えを、山主老師をはじめ、山内諸役寮が、分かりやすくお伝えします。心豊かに生きるヒントを見つけに、是非おいで下さい。

正法寺専門僧堂 布教師 海野義範

月例法話會は左記日程で開催致します。

（完全予約制。令和三年二月五日（日）より予約受付開始）

- 四月四日（日） 十一時〇〇分より法話（山主 盛田正孝）  
十二時三十分より点心
- 五月二日（日） 十一時〇〇分より法話（布教師 海野義範）  
十二時三十分より点心
- 六月六日（日） 十一時〇〇分より法話（後堂 春日和光）  
十二時三十分より点心
- 七月四日（日） 十一時〇〇分より法話（監事 松森弘隆）  
十二時三十分より点心
- 九月五日（日） 十一時〇〇分より法話（山主 盛田正孝）  
十二時三十分より点心

◆月例法話會は「法話と精進料理」がセットとなります。お一人様三〇〇〇円（内拝観料五〇〇円含む）をお納め下さい。

◆法話のみの参加も可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止の為、定員25名と致します。各會、上限に達し次第、予約を終了とさせて頂きます。御了承下さい。

◆各會、十時三〇分より受付を開始致します。

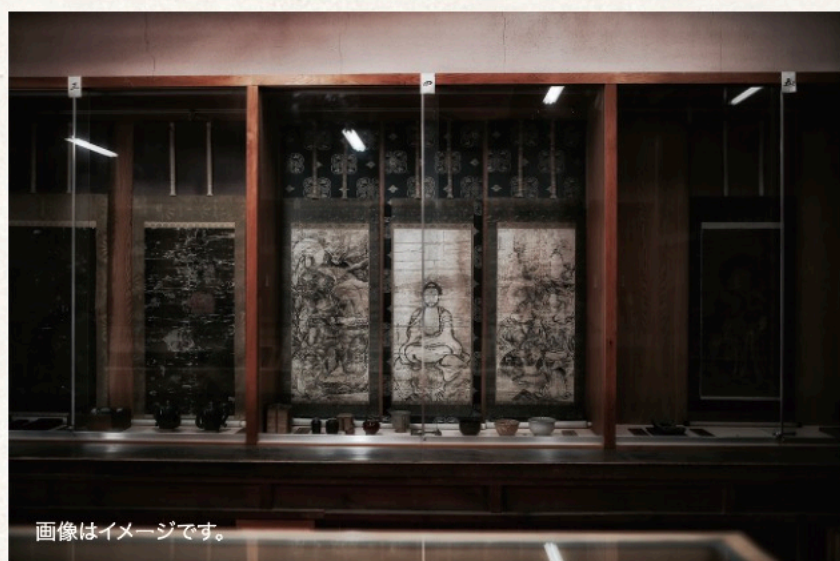
◆詳しくは「正法寺 総合受處（知客寮）」までお問い合わせ下さい。

## 【関連展】

東北DC期間中の令和三年四月二十四日（土）～九月二十六日（日）、岩手県奥州市の、えさし郷土文化館第二展示室に於いて、企画展「雅静の美・正法寺の至宝を巡る」が開催されます。こちらの企画展では、現在是一般非公開となっている正法寺寶物館に眠る寶物数十展を貸出し、特別公開致します。

詳しくは「えさし郷土文化館」までお問い合わせ下さい。

（お問い合わせ）  
〇一九七・三一一・一六〇〇



画像はイメージです。

## 【東北デスティネーションキャンペーンとは（東北DCとは）】

東北DCは、東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。開催期間は2021年4月1日（木）～9月30日（木）で、東北6県で6ヶ月の開催は初めての取組です。震災から10年の節目に開催する「東北DC」では、各県の力をかけ合わせて東北の大きな力にし、東北の魅力在国内外へ発信することによって東北観光のブランド化を推進していきます。この機会に多くの方が東北を訪問し、復興に向けて歩む姿を見ていただきたいと思います。参照：<https://www.tohokukanko.jp/dc/>



## 山門大施食會

七月十九日（日）、「山門大施食會」が執り行われました。例年は、法要前に檀信徒に対しての法話が行われておりましたが、本年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止の為、法話は中止とし、法要は檀信徒の御理解を賜り、檀信徒護持会役員のみ参列致しました。法要後、供養致しました卒塔婆は、護持会役員に御協力頂き各家の墓地に建立致しました。

また、例年帰省客の参拝で賑わうお盆期間も、参拝者・山内修行僧の安全を第一に考え、八月八〜十八日の期間、境内地への立ち入りを全面禁止と致しました。この間、當山檀信徒には、境内地からではなく防災道路からの墓参に御協力を頂きました。コロナ禍といわれる昨今、當山でも感染症対策を手探りで行いながらの孟蘭盆行持となりました。

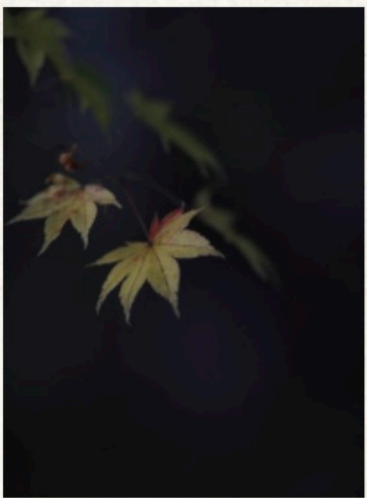


## 両祖忌

九月二十九日、両祖忌が修行されました。例年は、曹洞宗岩手県事務所第六教区主催の両祖忌と當山専門僧堂にて行われる両祖忌を併せて行っていました。今年も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止の為、山内役僚・大衆のみで執り行われました。

両祖忌正當献飯諷經は山主老師が導師をお勤めになり、両祖大師の遺徳を偲びました。

大本山永平寺を開かれた道元禪師は、建長五年（一一五三年）八月二十八日に五十四歳で、大本山總持寺を開かれた盤山禪師は、正中二年（一三二五年）八月十五日に、五十八歳で示寂されました。両祖大師の示寂された両日を、太陽曆に換算した所、いずれも九月二十九日となりました。明治十年、太陽曆での九月二十九日を、両祖大師の御命日として「両祖忌」と定められました。



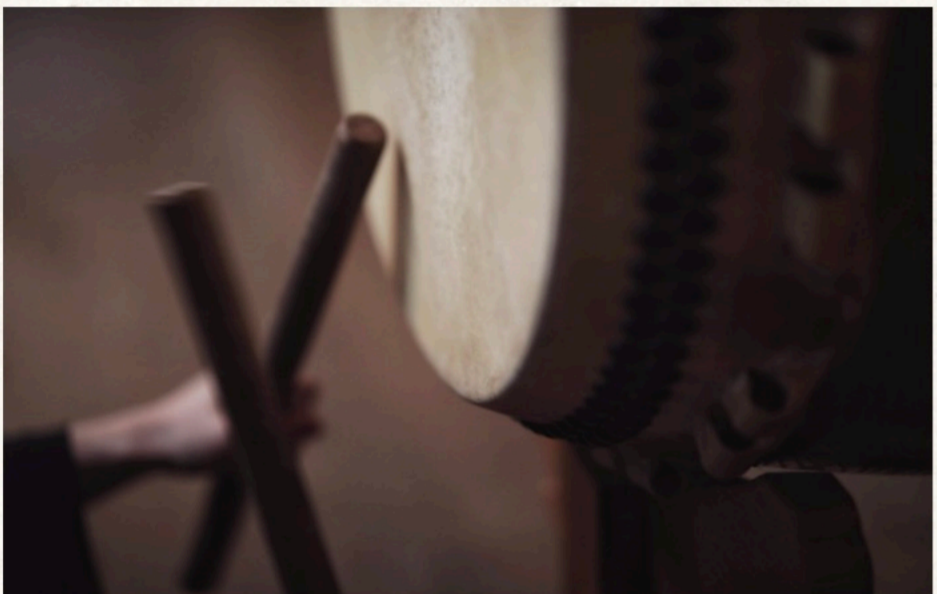
秘佛本尊 圓通大士如意輪觀世音菩薩 御開帳

正法寺鎮守 熊野大権現大祭祈禱會

2020年10月16日(金) 嚴修

今年度の「熊野大権現大祭祈禱會」は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止の為、一般参拝者の参拝は御遠慮頂きます。祈禱礼をお申込み頂いた方へは「郵送」又は「後日郵合受取」でお返しにて対応させていただきます。御理解と御協力をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】大権現山 圓通 正法寺 総合受取 | 正法寺専門僧堂 知客寮  
〒023-0101 岩手県奥州市水沢区石町字正法寺129 Tel. 0197-26-4041 Fax. 0197-26-4107 Url. shobeji.net



## 正當献飯諷經

當山勸請三祖 道叟道愛禪師  
道叟道愛禪師は、正中二年（一三二五年）秋田の生まれ、總持寺峨山韶碩禪師に師事し、「峨山禪師二十五哲」の第十六番に列せられています。（現岩手県胆沢郡金ヶ崎町）を開山致しました。道叟禪師は兄弟子にあたる當山二祖 月泉良印禪師を物心両面で補佐し、正法寺の発展の上で大きな功績を残されました。永和元年（一三七五年）、道叟禪師は月泉禪師に先立って遷化した為、正法寺には住山しませんでした。その功に報いる為、當山三代に勸請し、その尊像を作り開山堂に祀りました。現在も御命日の九月十三日には遺徳を偲び法要を修行しております。

前日十二日の「連夜献湯諷經」は松森監事、十三日の「正當献飯諷經」は春日後堂がそれぞれ導師をお勤め、山内一同、報恩の焼香を致しました。



岩手県指定文化財勸請三祖 道叟道愛禪師像  
応永二年（一三九五）年、佛師 立増作

## 秘佛本尊御開帳 當山鎮守 熊野大権現大祭祈禱會

當山五十五世得道芳髓大和尚 思実忌 併修 當山五十六世紹悦興隆大和尚 慈明忌

十月十六日、毎年恒例の「當山鎮守 熊野大権現大祭祈禱會」が修行されました。他の法會同様、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止の為、山内役僚、大衆のみで修行致しました。一般参詣者の法要参列も御遠慮頂き、祈禱申込者の方々に對しましては祈禱札の郵送、後日受け取りでの対応に御理解と御協力を賜りました。

また、当初六月の開山忌で修行を予定しておりました「當山五十五世 得道芳髓大和尚（大本山總持寺 獨住第二十二世 大環正応禪師）二十三回忌」、「當山五十六世 紹悦興隆大和尚十七回忌」も併せて内勤にて執り行いました。

来年度はこれまで通り、参詣者の方々と共に法會が修行出来る事を祈念致します。

十五日十四時三十分 打出し

當山五十六世 紹悦興隆大和尚 慈明忌 連夜献湯諷經

導師 齋藤梅花講師

當山五十五世 得道芳髓大和尚 思実忌 連夜献湯諷經

導師 松森監事

十六日九時三十分 打出し

當山五十六世 紹悦興隆大和尚 慈明忌 正當献飯諷經

導師 木村特別講師

當山五十五世 得道芳髓大和尚 思実忌 正當献飯諷經

導師 春日後堂

熊野大権現大祭祈禱會 導師 山主老師



令和二年

# 冬制中 首座法戦式

## 『従容録』第八則「百丈野狐」

10月14日より配役首座 高橋万理 (宮城県464番 長照寺徒弟)、書記 伊藤裕磨 (岩手県120番 菅生院副住職)、辨事 阿部大仁 (福島県19番 常圓寺徒弟)を中心に、冬制中期間に入りました。入制に際し、10月14日に配役行茶、首座入寺式、土地堂念誦が、翌15日朝課罷に法堂人事行禮、僧堂人事行禮がそれぞれ修行されました。

11月18日には本則行茶が修行され、山主老師より『従容録』第八則「百丈野狐」について提唱を頂きました。翌日19日は首座法戦式が修行されました。今制中も新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染防止の為、山内役寮・大衆のみでの法戦式となりましたが、十人の問者と氣迫溢れる問答を交わし、見事説破致しました。

### 臘八攝心 釋尊成道會

二月一日～八日にかけて、山内では臘八攝心が修行されました。お釋迦様がお悟りを開かれ、佛道を成就された日に執り行う法要を「成道會」といい、毎年十二月八日に修行されます。お釋迦様は十二月八日の早朝、暁の明星を御覧になり悟りを開かれました。臘八攝心はお釋迦様の悟りの実戦となる様、起床から就寝までの終日、坐禪修行を行います。攝心期間中は、山主老師・春日後堂・松森監事の提唱も行われ、一同真剣に拝聴致しました。

八日夜半、佛殿(法堂西序)に於いて執り行われた成道會獻粥誦經は春日後堂が、隅中の成道會獻飯誦經は山主老師がそれぞれ導師を勤め無事に修行致しました。

## 役寮転役・転寮

正法寺専門僧堂 特別講師 (准師家)

### 木村 法道

(新潟県 第533番 長昌寺住職)

専門僧堂再開單より、監事を勤めて参りました木村法道老師は、令和2年10月15日付けで正法寺専門僧堂「特別講師」(非常勤)に転役転寮となりました。今後も山門法要や特別法要等の際、引き続き御助力頂きます。

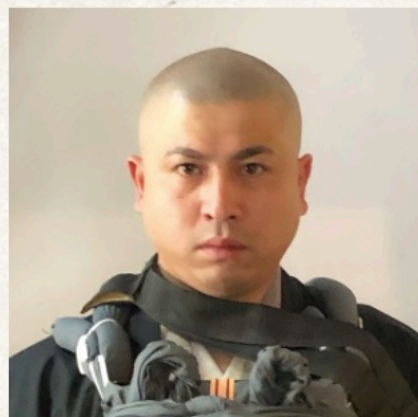


## 新到宜しゅう!! 令和二年 正法寺専門僧堂 冬安居 上山者紹介



阿部 大仁  
(福島県 第19番 常圓寺)

人に優しく、自分に厳しい僧侶を目指します。



伊藤 賢丈  
(岩手県 第96番 常泉寺 徒弟)

自分の弱さ、甘さと向き合いながら自分を律していく所存であります。



# 茅葺

## 探訪

Vol.05

### 新宮熊野神社 熊野神社長床



#### 【新宮熊野神社】

社伝「新宮雜葉記」によると、新宮熊野神社は平安時代の天喜三年（一〇五五年）、前九年合戦（一〇五一年）、一〇六二年の際、源頼義公（九八八〜一〇七五年）が戦勝祈願のため熊野堂村（現 福島県会津若松市）に熊野神社を勧請したのが始まりであるとされています。その後の寛治三年（一〇八九年）、後三年合戦（一〇八三〜一〇八七年）の後に頼義公の子・源義家公（一〇三九〜一一〇六年）が現在の地に熊野新宮社を遷座・造営したと伝わります。この時、熊野本宮社を岩沢村（現 喜多方市上三宮町）、熊野那智社を宇津野村（現 喜多方市熱塩加納町宇津野）に遷座・造営しました。後年、この二社は新宮社に遷され、現在は本宮・新宮・那智の三社が祀られております。最盛期には三百以上の末社や寺院が立ち並び、百人を超える神職が奉仕していたそ

#### 【国指定重要文化財 熊野神社長床】

新宮熊野神社は、会津盆地の長閑な田園風景が広がる福島県喜多方市慶徳町にあります。神社の御神木であるという、高さ37m、根元周囲8.1m、樹齢八〇〇年以上の大銀杏は喜多方市天然記念物に指定されております。毎年、黄葉の時期には黄金の葉が境内を埋め尽くし、期間限定で夜間のライトアップも行われ、一日に三千人を超える参詣者が訪れる日もあります。その大銀杏の奥に、国指定重要文化財「熊野神社長床」が建っております。

拜殿として建立された長床は、慶長十六年（一六一一年）の会津地震で本殿以外の建物は全て倒壊し、慶長十九年（一六一四年）、蒲生忠郷公（一六〇二〜一六二七年）により、かつてのものより一回り小さい拜殿が再建されました。保科正之公（一六一一〜一六七三年）以降は会津松平氏の祈願所とされ、藩主の代参

うです。その後も栄枯盛衰を繰り返した新宮熊野神社で

したが、明治初期の廃佛毀釈で多くの佛像や文化財が失われてしまいました。現在は神社の周辺住民で結成された「新宮地区重要文化財保存会」によって維持管理が行われています。

長い歴史の中で、かつての神佛習合を今に伝える文化財も宝物殿に収蔵されておりです。その一つ、かつて神社の境内に建てていた文殊堂の本尊、福島県指定文化財「木造文殊菩薩騎獅像」は、この土地の神佛習合の信仰を伝える遺品として大変貴重な佛像です。



1.ライトアップされた長床と樹齢800年の大銀杏。2.寝殿造の長床内部。直径45.4cmの円柱44本が立ち並ぶ。3.境内地入口の大鳥居。4.宝物殿に祀られる福島県重要文化財「木造文殊菩薩騎獅像」。全長285cm、鎌倉時代初期の作と考えられている。

も度々行われました。

昭和三十八年（一九六三年）、長床は国の重要文化財に指定され、解体修理復原工事が行われました。かつての姿に復元されました長床は、間口約27m、奥行約12m、藤原時代の貴族の住宅建築としての寝殿造の主殿の形式をふんでおります。直径45・4cmの柱四十四本に茅葺きの奇棟造り、周囲には壁も扉もない吹き抜けの建物です。

#### 新宮熊野神社

〒966-0923 福島県喜多方市慶徳町新宮熊野2258  
拝観時間 / 8:30~17:00  
12月~3月 土・日・祝日のみ見学可



新宮熊野神社 長床



